

1 学年就労体験報告 3 学年現場実習報告会を終えて

就労体験を終えて

～就労体験をして～

ぼくは、「つばさ」に行きました。初めて会った人とも元気にあいさつをすることができました。午前中はアセスメントをしたり、バッテリーの部品を組み立てる仕事をしたりしました。いがいとかんたんで、失敗しないでできました。

お昼休みは、利用者の方と仲良くすることができました。

午後では SST といって社会生活に必要な技術の訓練をしました。テーマは、人をほめることでした。利用者の方のロールプレイをみて、人をほめることは、むずかしいと思いました。自分の番になって、利用者の方のロールプレイを参考にしてみようと思いました。職員の方には笑われましたが、親しみやすさや声のトーンがいいと利用者さんにほめられました。うれしかったです。

就労体験の目標は、「めいわくをかけない」「あいさつ・返事・ほうこくをしっかりとこなう」でした。目標は、達成できましたがこれからのかだいとして、最後まで集中して仕事をする力をみにつけたほうがいいと思いました。2年生の実習までにみがきあげたいです。

(高等部1年：男子)

～就労体験の感想～

ぼくは、就労体験で「あとりえ北山」で働いてきました。

仕事でがんばったことは、ドーナツとシフォンケーキのふくろづめとお茶の葉っぱを軽量スプーンで計り、ふくろに入れる仕事をがんばりました。シフォンケーキのふくろづめでは、ケーキがくずれないようにふくろに入れました。お茶の葉っぱは、すりきり1ぱいこぼれないようにふくろにいれました。集中してがんばりました。とてもつかれました。

来年の実習までに、いつもの作業でがんばることは、片づけを早くてきばきできるようにすることと、わからないときに質問をすることです。将来は、おかしやさんで働きたいのがんばりたいと思います。

(高等部1年：男子)

現場実習報告会を終えて

～現場実習の反省から～

私は、「けやき茶屋」で2週間実習を行ないました。仕事は、お弁当の盛り付けやひき肉のグラム計り、コロッケ作りなどをしました。

今回の実習での私の目標は、分からないことがあったら自分から聞きに行くことでした。職員さんの方から教えていただくことが多かったのですが、自分から質問することが少なくてよかったです。

私が働く上で大切だと思ったことは、「人とのコミュニケーション」です。毎日の学校生活の中で、挨拶や返事、報告といった基本的なコミュニケーションを身に付けることが大切だと思いました。卒業後も「けやき茶屋」に行けるように、これからもがんばりたいと思います。(高等部 3 学年女子)

～付添担当教員から～

私は主に、生活介護事業所の付添指導をしました。実習先の職員の方だけでなく、利用者の方にも温かく生徒を受け入れていただき、とても感謝しています。

実習の活動内容についても、生徒それぞれの実態に合わせ柔軟に対応していただいたため、どの生徒も充実した時間を過ごすことができました。

付添指導をして感じたことは、生徒達には色々な人との関わりが大切なのだな。ということでした。学校という比較的狭い範囲での人間関係にこだわらず、より広くまた多くの人と関わろうという姿勢が生徒の将来の選択肢を広げることにつながると感じました。

生徒が将来、様々な場面で、そしてより多くの人達とふれあいながら生き生きと生活できるよう、指導支援していきたいと思います。(高等部3学年 教員)